



滝野川 もみじ小だより

令和2年10月30日
校長 野尻史子

祝*開校4周年 ～11月1日は開校記念日です～

校長 野尻 史子

もみじ門の脇に、大きなもみじの木があります。夏の間、青々としていた葉の端が、このところ少し色づいてきました。♪もみじの赤♪が見られるのももうすぐでしょうか。楽しみです。

平成29年4月1日開校の“滝野川もみじ小学校”は、今年で4周年を迎えます。現在在籍する児童のうち、統合前の滝野川第六小学校、紅葉小学校に通っていたのは、5・6年生のみとなりました。教員も、開校前後の様子を知っているのは、わずか8名、半分以上です。今朝の開校を祝う児童集会では、6年生の代表 原 彩音さんが、開校当時の思い出を話してくれました。開校前はまだ2年生だったわけですが、よく覚えていて感心しました。

私が3年生の時に、滝六小と紅葉小が統合しました。(前の年には)合同遠足や、合同給食など、いろいろなふれ合いがあつて、楽しかったです。私が心に残っているふれ合いは、合同遠足です。清水公園へ行きました。清水公園では、水の上のアスレチックや、ありじごくなど、いろいろな遊具がありました。私はそこで、紅葉小の子と何人か友達になりました。その子たちとおにごっこをしたり、いっしょにアスレチックで遊んだりしたのが、とても楽しかったです。時間を忘れるくらい、遊びました。友達が増えてとても嬉しかったです。(中略)

開校してからもう3年経ったけれど、開校記念日はずっと忘れたくないです。新しくできた友達も、ずっと大切にしていきたいと改めて思いました。

栄養士の後藤さんは、統合を翌年に控えた当時、1学期に滝六小の子供たちが、学年ごとに紅葉小に来て、教室とランチルームに分かれ交流給食をしていたと、教えてくれました。給食の後、学年みんなで集まって大きな声であいさつしていたのを覚えているそうです。また2学期には、2校の子供たち全員が10台以上のバスを連ねて、千葉県にある清水公園まで合同遠足に行ったことを、多くの先生方が覚えていました。原さんの思い出にもあるとおり、双方が事前に考えて準備したゲームをしたり、広い公園で一緒に遊んだりして楽しんだそうです。子供たちが、安心して翌春の開校を迎えることができるように、滝六小、紅葉小の先生方は、統合前に少しでも子供たちが顔見知りになり、仲良くなるための様々な工夫をしていたことが伝わってきます。

こうして開校した滝野川もみじ小学校、まだ3年半ではありますが、着実に若い歴史を刻んでいます。今年度は、新型コロナウイルス感染症の発生で学校生活が大きく変わり、想像もしなかったような日々の生活ではありますが、これもまた、本校の歴史の1ページです。今年だからこそその思い出もあってよいと思います。先日の「スポーツフェスタ」もそのよい思い出の一つになりました。これからも知恵を絞りながら、学習や学校行事の形態や内容を考えて参ります。

児童集会では、明日の開校記念日を迎えるにあたって、「新しい学校の歴史をつくるのは、私たち一人一人であり、私たちみんなです。」と子供たちに呼びかけました。今、自分たちが取り組んでいる学習や行事が、これから何年も続く滝もみ小の伝統になるかもしれません。毎年、みんなが楽しみにする学習や行事に育つかもしれません。何事にも、自分なりの目標を見定め、友達と協力して取り組んでほしいと願っています。

私たち教職員も、子供たちと共に努力を惜しまず、これからも一丸となって本校の教育活動に取り組んで参ります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、引き続きご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願いたします。

